

2023年9月26日

## サノフィ、日本におけるデュピクセント®(デュピルマブ)の リジェネロンとのコ・プロモーションを開始

サノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岩屋孝彦、以下「サノフィ」)は、サノフィが製造販売しているデュピクセント®(一般名:デュピルマブ(遺伝子組換え)、以下「デュピクセント®」)について、リジェネロン・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、ジャパンカンントリーリード 免疫領域 石井洋平、以下「リジェネロン」)とのコ・プロモーションを開始することをお知らせします。10月1日以降、デュピクセント®の製造販売は引き続きサノフィが行い、プロモーション活動はサノフィとリジェネロンの両社が行います。

デュピクセント®は、国内において4つの適応症を有する、完全ヒトモノクローナル抗体製剤です。2型炎症において中心的な役割を果たすタンパク質インターロイキン(IL)-4 および IL-13 の作用を阻害することによって、各適応疾患において患者さんの症状や QOL スコアの改善が報告されています。

デュピクセント®が国内製造販売承認を得ている適応症は、成人および生後6ヵ月以上の小児の既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎、成人の既存治療で効果不十分な結節性痒疹と鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎、成人および12歳以上の小児の既存治療によっても症状をコントロールできない重症または難治の気管支喘息です。また現在、特発性の慢性蕁麻疹に係る効能・効果について、承認申請中です。

サノフィは、デュピクセント®のコ・プロモーションを通じてリジェネロンとの緊密な協働関係を築き、日本の患者さんやそのご家族に一層貢献できるよう鋭意努力し、医療現場のニーズにお応えできるよう引き続き努めてまいります。

### デュピクセント®について

デュピクセント®は、インターロイキン(IL)-4 および IL-13 の細胞内シグナル伝達を阻害する完全ヒトモノクローナル抗体製剤で、免疫抑制剤ではありません。デュピクセント®の第 III 相臨床試験における各種開発プログラムは、それぞれの疾患において一貫した臨床効果と2型炎症の軽減を示しています。このことから、IL-4 と IL-13 が、2型炎症が原因となる複数の2型炎症性疾患の併存に大きく関与しており、主要な役割を果たしていることが示されています。これらの疾患には、気管支喘息、アトピー性皮膚炎、鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎、結節性痒疹などのデュピクセント®の承認された適応症や、特発性の慢性蕁麻疹など開発中の疾患も含まれています。デュピクセント®は、60カ国以上の国々で上記適応症の1つ以上で承認されており、世界で60万人以上の患者さんが本剤の投与を受けています。

### サノフィについて

サノフィは、人々の暮らしをより良くするため、科学のもたらす奇跡を追求する、というゆるぎない使命を原動力に進み続ける革新的でグローバルなヘルスケア企業です。約100カ国の社員は、医療を変革し、不可能を可能に変えるため、日々研鑽に努めています。私たちは、社会的責任と持続可能性を企業の本質とし、画期的な医薬品や生命を守るワクチンを開発し、世界何百万もの人々に届けていきます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。